

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km圏内海域 > < 1/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
アイナメ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年1月31日	71	150	221
クロソイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年1月31日	64	110	174
コモンカスベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年1月31日	42	78	120
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年1月31日	7.5	16	23.5
クロソイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年2月7日	18	29	47
コモンカスベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年2月7日	23	56	79
マダラ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年2月7日	4.4	8.7	13.1
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年1月31日	51	100	151
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年1月31日	17	30	47
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年1月31日	26	43	69

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( Bq / kg (生) ) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
マダラ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年1月31日	32	55	87
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年2月7日	34	60	94
マダラ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年2月7日	7.8	10	17.8
アイナメ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	58	100	158
クサウオ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	ND	ND	ND
クロソイ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	160	300	460
ケムシカジカ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	20	30	50
コモンカスベ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	150	250	400
ババガレイ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	79	160	239
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	27	45	72

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約3.7Bq/kg(生)、Cs-137が約3.7Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 3/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
マダラ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年1月29日	14	28	42
クサウオ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	ND	ND	ND
クロソイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	98	160	258
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	63	120	183
ババガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	79	160	239
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	28	51	79
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	80	140	220
マダラ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年1月29日	11	16	27
アイナメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	6.7	22	28.7
イシガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	10	20	30

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.1Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 4/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( Bq / kg (生) ) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
カナガシラ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	ND	4.4	4.4
ギンアナゴ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	6.1	16	22.1
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	47	100	147
ジンドウイカ(全体)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
スズキ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	9.8	23	32.8
ババガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	5.5	11	16.5
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	11	22	33
マガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	26	78	104
マダラ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成25年2月4日	ND	4.4	4.4

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.1Bq/kg(生)、Cs-137が約3.8Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 5/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) ( 半減期 )		
			C s - 1 3 4 ( 約 2 年 )	C s - 1 3 7 ( 約 3 0 年 )	C s 合計
ムシガレイ (筋肉)	小高区沖合 15 km 付近 (T-B1)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
イシガレイ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	22	33	55
カナガシラ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	ND	8.5	8.5
コモンカスベ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	50	86	136
スズキ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	9.7	17	26.7
ババガレイ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	15	30	45
ヒラメ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	7.3	16	23.3
マガレイ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	15	23	38
マダラ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	22	35	57
メイタガレイ (筋肉)	請戸川沖合 18 km 付近 (T-B2)	平成25年2月4日	ND	ND	ND

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.3Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 6/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( Bq / kg (生) ) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
アイナメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	57	91	148
イシガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
カナガシラ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	ND	5.2	5.2
ケムシカジカ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	11	20	31
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	53	91	144
スズキ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	17	24	41
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	34	62	96
マアナゴ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	5.1	8.7	13.8
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	5.0	11	16
マダラ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	17	35	52

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約3.9Bq/kg(生)、Cs-137が約4.3Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 7/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
マフグ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	ND	10	10
ミズダコ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
ウマヅラハギ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	ND	ND	ND
コモンカスベ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	46	110	156
スズキ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	5.2	6.2	11.4
ババガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	31	65	96
ヒラメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	22	38	60
マコガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	9.0	18	27
マダラ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	11	18	29
マフグ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成25年2月4日	7.8	15	22.8

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.9Bq/kg(生)、Cs-137が約4.6Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 8/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) ( 半減期 )		
			C s - 1 3 4 ( 約 2 年 )	C s - 1 3 7 ( 約 3 0 年 )	C s 合計
ムシガレイ (筋肉)	2F敷地沖合 10 km 付近 (T-B4)	平成25年2月4日	8.1	11	19.1
クロソイ (筋肉) No.1	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年1月30日	2900	5400	8300
ムラソイ (筋肉) No.1	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年1月30日	17000	31000	48000
マアナゴ (筋肉) No.1	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年1月30日	480	890	1370
アイナメ (筋肉) No.1	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年2月15日	35000	64000	99000
ムラソイ (筋肉) No.2	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年2月15日	97000	180000	277000
ムラソイ (筋肉) No.3	1F港湾内(物揚場付近)	平成25年2月15日	55000	99000	154000
アイナメ (筋肉) No.2	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年1月30日	50000	89000	139000
ムラソイ (筋肉) No.4	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年1月30日	71000	130000	201000
ムラソイ (筋肉) No.5	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年1月30日	75000	130000	205000

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

T-B4地点の分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施



魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 9/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) ( 半減期 )		
			C s - 1 3 4 ( 約 2 年 )	C s - 1 3 7 ( 約 3 0 年 )	C s 合計
エソイソアイナメ(筋肉) No.1	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年2月15日	5300	9600	14900
マアナゴ(筋肉) No.2	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年2月15日	990	1900	2890
アイナメ(筋肉) No.3	1F港湾内(南防波堤付近)	平成25年2月15日	6900	13000	19900
アイナメ(筋肉) No.4	1F港湾内(北防波堤付近)	平成25年1月30日	11000	20000	31000
アイナメ(筋肉) No.5	1F港湾内(北防波堤付近)	平成25年1月30日	8200	15000	23200
エソイソアイナメ(筋肉) No.2	1F港湾内(北防波堤付近)	平成25年1月30日	780	1400	2180
エソイソアイナメ(筋肉) No.3	1F港湾内(北防波堤付近)	平成25年1月30日	1300	2300	3600
アイナメ(筋肉) No.6	1F港湾内(北防波堤付近)	平成25年2月15日	6200	11000	17200
アイナメ(筋肉) No.7	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	86000	160000	246000
クロソイ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	12000	21000	33000

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20km圏内海域 > < 10/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
コモンカスベ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	1000	1900	2900
シロメバル(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	38000	69000	107000
シロメバル(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	23000	41000	64000
シロメバル(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	27000	49000	76000
タケノコメバル(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	51000	92000	143000
マコガレイ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	220	380	600
マダラ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	41	89	130
ムラソイ(筋肉) No.6	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月12日	37000	68000	105000
アイナメ(筋肉) No.8	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	700	1300	2000
コモンカスベ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	280	540	820

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km圏内海域 > < 11/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
シロメバル(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	32000	59000	91000
シロメバル(筋肉) No.5	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	47000	85000	132000
シロメバル(筋肉) No.6	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	41000	75000	116000
マコガレイ(筋肉) N0.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	96	160	256
ムラソイ(筋肉) No.7	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月13日	55000	99000	154000
アイナメ(筋肉) N0.9	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	50000	90000	140000
クロソイ(筋肉) N0.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	3100	5600	8700
シロメバル(筋肉) No.7	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	20000	37000	57000
タケノコメバル(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	42000	77000	119000
ヒラメ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	120	240	360

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km圏内海域 > < 12/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) ( 半減期 )		
			C s - 1 3 4 ( 約 2 年 )	C s - 1 3 7 ( 約 3 0 年 )	C s 合計
マコガレイ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	14000	25000	39000
マコガレイ(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	630	1200	1830
マコガレイ(筋肉) No.5	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	98	180	278
マゴチ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月15日	440	950	1390
アイナメ(筋肉) No.10	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月16日	6800	12000	18800
クロソイ(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月16日	450	810	1260
シロメバル(筋肉) No.8	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月16日	30000	55000	85000
シロメバル(筋肉) No.9	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月16日	19000	35000	54000
マダラ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月16日	32	48	80
アイナメ(筋肉) No.11	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月17日	180000	330000	510000

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 13/13 >

(データ集約 : 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) ( 半減期 )		
			C s - 1 3 4 ( 約 2 年 )	C s - 1 3 7 ( 約 3 0 年 )	C s 合計
アイナメ(筋肉) No.12	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月17日	42000	76000	118000
シロメバル(筋肉) No.10	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月17日	28000	51000	79000
シロメバル(筋肉) No.11	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月17日	22000	40000	62000
シロメバル(筋肉) No.12	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月17日	14000	26000	40000

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/3 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約：2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	11	-	ND
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年11月8日	7.6	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年11月8日	16	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年12月20日	8.0	-	13.7
ガザミ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年10月18日	11	-	ND
ガザミ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年11月8日	12	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年11月8日	15	-	13.6
ガザミ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年10月13日	14	-	37
ガザミ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	5.5	-	ND
ガザミ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年12月13日	8.0	-	ND

「-」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.8Bq/kg(生)、Cs-137が約4.8Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/3 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約: 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 <sup>*</sup> (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年12月13日	19	-	5.2
ガザミ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年10月13日	10	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年10月13日	21	-	4.3
ガザミ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	6.8	-	ND
ガザミ(全体)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年10月15日	10	-	8.5
ドチザメ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成24年9月15日	ND	0.82	1430
ガザミ(全体)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成24年10月15日	9.3	-	ND
クロソイ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成24年10月15日	ND	1.2	1470
ガザミ(全体)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成24年11月15日	5.9	-	ND
ガザミ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年10月14日	6.5	-	ND

「-」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Ag-110mが約11Bq/kg(生)、Cs-134が約4.7Bq/kg(生)、Cs-137が約4.6Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

\* 魚全体で測定

## 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 3/3 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約: 2/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ヒラツメガニ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年10月14日	26	-	19.9
ガザミ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月10日	11	-	14.8
ヒラツメガニ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月10日	21	-	4.2
ガザミ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	7.1	-	ND
ガザミ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年12月21日	7.9	-	ND

「-」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.6Bq/kg(生)、Cs-137が約3.6Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。